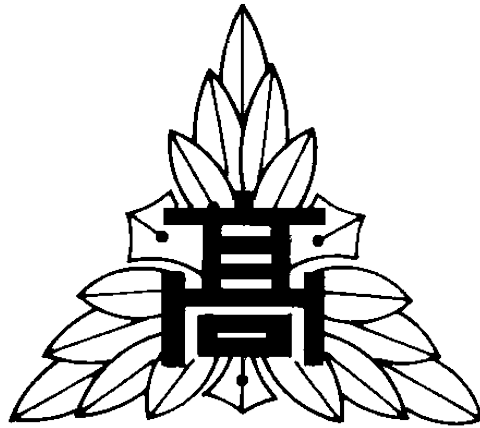


# 川辺高校生礼儀心得

品格ある川辺高生になるために



鹿児島県立川辺高等学校

## 1 服装・容儀

- (1) 「服装はあなたの人格を宣言する」というイギリスの戒めの言葉がある。また、日本には、「服装はあなたの紹介状」ということわざがある。
- (2) 服装の乱れは、心の乱れである。質素、清潔に心がけ、時・場所に合った着こなしの感覚を養うことが大切である。制服は私服ではない。  
※ 「心の乱れ」とは、将来の夢や自己実現を目指す高校生として、学習活動に専念できる状況にない心的状況を備えている状態を指す。  
制服からシャツやセーター、下着などのインナーをはみ出させるような着こなしをしない。
- (3) 生徒規約に書かれている「頭髪・服装に関する規定」をしっかりと守る。

## 2 挨拶

- (1) 挨拶は礼儀作法の基本である。明るくさわやかな挨拶は、心と心をつなぐ掛け橋であり、人間関係の潤滑油である。
- (2) 言葉や態度で表さなければ、「敬意や感謝」の気持ちは相手に伝わらない。  
次の点に気をつける。
  - ① オ・・・「おはようございます」  
ア・・・「ありがとうございます」  
シ・・・「失礼します」  
ス・・・「すみません」  
オアシスは挨拶の基本である。
  - ② 目上の人には、立ち止まって姿勢を正して挨拶をする。
  - ③ 学校内のみならず、近所やバスの中などでも積極的に挨拶をする。

## 3 言葉づかい

- (1) 言葉づかいには、その人の品性が現れるので、特に注意する。  
次の点に気をつける。
  - ① はっきりとした発声・発音で、姿勢を正して話をする。
  - ② 敬語を使う。
  - ③ 投げやりな言い方や、だらだらした話し方はしない。
- (2) 他人と会話するときは、次の点に気をつける。
  - ア 相手の立場に気を配る。
  - イ 人の話しに割り込んだり、話題を独占したりしない。
  - ウ 人の話の最中に、よそみやあくびをしない。
  - エ 言い間違いをその場で指摘しない。
  - オ 陰口等、人を傷つける話はしない。

## 4 応対

- (1) 呼ばれたときは、次の点に気をつけて、しっかりと応対する。
  - ① 呼ばれたら、はっきりと「はい」と返事をし、すばやく対応する。
  - ② 目上の人から声をかけられたら、相手に向かって姿勢を正す。
  - ③ 指示、注意を聞き終えたら、「はい」または「わかりました」と返事をする。
  - ④ 指示されたことや、頼まれたことについては、必ず要点をまとめて報告をする。
  - ⑤ 間違いを指摘されたり、注意を受けたときは、失礼な態度をとらない。いやしくも、ふくれ面をしたり逆恨みをしてはならない。

## 5 所作(ふるまい)

- (1) 常に自分の位置に注意し、他人の前を通るときには、「失礼します」の礼を忘れない。
- (2) 所かまわず物を置かない。また、人や物をまたがない。

(3) 他人の物をむやみに借りたり、物を学校に置きっぱなしにしたりしない。

(4) 目上の人へ物を受け渡すときは、両手でする。

(5) 教室での所作

① 授業の始めと終わりには丁寧に「礼」をする。

総務は、先生が教室の入口に入ったときに、「起立」の号令をかける。

生徒は机の左側に起立する。一番左端の生徒は右側に起立する。

先生が教壇に立ったら、「礼」と号令をかける。

総務は、「礼」が終わったら、「着席」の号令をかける。

先生の顔も見ずに、机に手をついたまま尻を椅子から上げるだけの「礼」はしない。

② 授業中に指名されたら、「はい」と返事をして起立する。

③ 質問に答える場合や教科書を読む場合は、全員に聞こえるような大きな声を出す。

④ 質問には単語で答えず「～です」、「～だと思えます」と文章で答える。

⑤ 授業中は椅子にきちんと座り、よそ見やのぞき見、むだ話はしない。

⑥ 試験の時、総務は、試験開始3分前に勉強道具を片付けさせ、静かに待たせる。

(6) 職員室での所作

① 入室するときは、「〇年〇組の〇〇です。〇〇先生に用事があります。入ってもよろしいですか。」と言い、返事があつたら「失礼します。」と言って入る。

先生の所では、クラス、名前を名乗り、用件を言う。

退室の際は室内を向いて「失礼しました。」と言って出る。

② ドアを開閉するときは、最後まで手を放さず、静かに確実に行う。

③ 他人の開けたドアから我先に出入りしたり、すり抜けたりしない。

④ 職員室には大人数で入らずに、廊下で順番を待つ。

⑤ 他の人の出入りのじゃまになるので、入口付近で話し込まない。

⑥ 先生との会話には敬語を使う。決して友達言葉を用いない。

(7) 体育館・武道館・特別教室での所作

下履き・スリッパ等は靴箱に入れるか、入り口前に通行の妨げにならないように整然とつま先をそろえて外に向けて置く。

※ 全校朝礼の際は、スリッパを持って入る。床に置くときはスリッパの底を合わせて立てて置く。

## 6 飲食

(1) 飲食の姿には、品性が現れるので、次の点を特に注意してほしい。

① 昼食は、原則自分のクラスでとる。

② 購入したジュースやパンを歩きながら飲食はしない。

③ ゴミの後始末は分別を考えてしっかりと行う。

④ 飲んだ後のペットボトル等は洗って専用の容器に入れる。

⑤ 朝食を自宅でとれなかった場合のおにぎりやパン等以外の飴・ガム・菓子類全般の持ち込みを禁止する。

## 7 態度

(1) とるべき態度

① 他人に何をしてもらえるかではなく、他人のために何ができるかを考えて行動する。

② 恥ずかしがらずに礼儀正しい態度をとる。

③ 他人に気を配り、その場にふさわしい態度をとる。

(2) とってはならない恥ずべき態度

① 言い訳、弁解、責任転嫁、弱いものいじめ等は、人格が未熟なままの、卑怯者のする恥ずべき行為である。品格を求める人間は絶対にしてはならない。

② 失敗をごまかしてはならない。

③ 同じことを2回言わせない。同じ失敗を繰り返さない。

- ④ 他人の失敗を笑ってはならない。
- ⑤ 他人の真剣な姿を、崩れたいい加減な姿で見ってはならない。
- ⑥ 所かまわずに腰をおろさない。
- ⑦ 歯みがきをしながら歩かない。また、歯みがきをしながら人に話しかけない。
- ⑧ ポケットに両手をつっこんだままの姿で歩かない。
- ⑨ タオルを持ち歩かない。

## 8 通学

- (1) 交通安全には特に注意する。他人の迷惑になることがあってはならない。
- (2) 原則として、自転車は距離制限無し、原動機付自転車は4 km以上の通学距離の者が、学級担任・交通係の先生に願い出て、所定の手続きをとって許可を受けた場合に通学に利用できる。自転車は、ドロップハンドル等の運転に不安定なものは使用しない。また、通学に利用できる原動機付自転車は、スクーターかカブ型とする。(スポーツタイプは許可しない。)
- (3) **所定の手続きをとって許可を受けた者以外の、原動機付自転車・自動二輪・普通自動車等の免許取得は禁止する。**
- (4) 自分の安全を守るためにも、他人の安全を守るためにも次の点に注意する。
  - ① スピード違反をしてはならない。(原動機付自転車は30 km/h)
  - ② 一時停止は停止線で3秒以上止まり、安全確認後、前に出てさらに安全確認の上で発車する。
  - ③ 脇見運転、漫然運転をしてはならない。
  - ④ 信号無視は絶対にしてはならない。
  - ⑤ 車間距離をしっかりとる。(原動機付自転車の車間距離は15 m以上とる。)
  - ⑥ 必ず左側端を走行する。
  - ⑦ 安全確認を怠るな。
  - ⑧ 方向指示器は少なくとも30 m手前から出す。少し早目の方が良い。特に右折時には早めに出す。
  - ⑨ 通学の目的以外での原動機付自転車の利用は禁止する。(休日に遊びでツーリングに行くなどしない。)
- (5) 歩きながら飲食をしない。唾をはかない。ゴミを捨てない。
- (6) 人には道をゆずる。会釈をして通るなどマナーを心がける。
- (7) バス通学生は、次の点に気をつける。
  - ① バスの車中、バス停は公共の場である。しっかりした服装・態度を心がける。
  - ② バスの中では大きな声を出したり、高笑い等しない。
  - ③ 座り込んでバスを待つのは見苦しい行為である。しっかり立って並んで待つ。

## 9 試合など遠征時の注意

- (1) 前日に持ち物は準備し、忘れ物をしない。不要なものは携帯せず荷物は最小限にまとめる。
- (2) 練習相手校や会場校の先生方、保護者、生徒への挨拶は姿勢を正して、はっきりとした言葉で行う。1回したからといって次を省略したりしない。すれ違うときは会釈を何度でも行う。挨拶はしすぎということはない。しないと失礼になるが、挨拶して相手を不快にさせることはない。
- (3) 往復の行動には注意する。だらだらした歩き方をしたり、広がって歩いたり、だらしない服装をしてはならない。
- (4) 飲食の後の弁当がらや飲み物のペットボトル、カン類などは、その場に置きっぱなしにせず必ず持ち帰る。マナーを守ることは、同時に環境に配慮する思いやりでもある。

## 10 男女交際

- (1) お互いの人格を尊重し、明朗清純な節度ある交際を心がける。
- (2) 物陰や薄暗くなってから話し合ったり、他人が見て不快感を覚えるような行動は厳に慎む。